

大会基調講演

これまでの20年これからの20年
One Teamで目指す
離床と寝たきりゼロの世界

葛川 元 先生 (日本離床学会)

学会が始まって20年。さらに激しく変化する時代にどう対応すべきか、この領域の先駆者が熱く語ります。

大会特別講演

最新エビデンスに基づくICU・急性期の離床・リハ
打破すべき問題点と将来像

Dale Needham 先生 (アメリカ)

ここ数年で出た離床の最新エビデンスを、世界のトップランナーが「キュッ」とまとめて解説。「今」必要なアプローチは何なのかを基に考えていきます。

今、考えるべき重症患者の長期予後回復の鍵となる具体的な戦略とは？

Margaret Herridge 先生 (カナダ)

「命を救っただけではダメ!」と“長期離床”の必要性を世界に知らしめた第一人者が直伝!急性期で何を行い、回復期・生活期でどう対策を行うべきか、アプローチの具体策を教えてください。

目からウロコの方法が連発! 世界最先端の離床・リハビリ

このセッションでは“え、どうやってやるの!?”という驚きのアプローチの数々を紹介!

ついにここまで来た!
夜間に行うリハビリの具体策
実際に導入するために
行う工夫とは?

David MacWilliams 先生 (イギリス)

急性期から在宅までの
フォローアップを実現する
Tele Rehabilitation
の行い方

Marieke Van der Shaaf 先生 (オランダ)

THA術翌日に退院する
超急性期外来・
在宅リハビリテーションの
行い方

Marisa Delahunt 先生 (オーストラリア)

重症患者に対するEMS
ベルト式電気刺激を用いた
筋萎縮予防の実際

中村 謙介 先生 (神戸大学医学部附属病院)

最新エビデンスから導く
離床の最適な Doseとは?

ベストな頻度・強度・時間・タイミングを探せ!

皆が知らないの離床のDose について、人工呼吸器・心不全・脳卒中の3つのテーマそれぞれのトップランナーが、ズバリ“最適な離床負荷はコレ!”と教えてください。

人工呼吸器患者の離床ができるは当たり前!
CapabilityとDoseから考える
次のステップ

Sabrina Eggmann 先生 (スイス)

科学的視点で斬る!
心不全患者のバイオマーカーから導く
最適なMobilization Dose

Kevin Triangto 先生 (インドネシア)

少量頻回がいいのはわかるけど無理!
脳卒中患者に最適な
離床アプローチを行う具体策

高良 光 先生 (那覇市立病院)

重症患者に対する
至適な呼吸管理

MV設定とWeaningに必須の最新 Pieces

PEEP・駆動圧・経肺圧を考慮したARDS患者の
最適な人工呼吸器設定

阿部 智一 先生 (昭和医科大学病院)

Baby Lung を守るための最適な人工呼吸器設定と、離床可否を判断するために必要な最新のパラメータのみかたを伝授します。

世界中が驚いた! 人工呼吸器からの早期離脱
と早期離床を実現するゼロ鎮静戦略

Thomas Storm 先生 (デンマーク)

ついに「ゼロ鎮静」のエキスパートが登場!
全く鎮静を使わない臨床の実践について、工夫や落とし穴まで徹底解説します。

大会プログラム委員長講演
長期人工呼吸患者に対し
離脱に向けた最善の栄養投与

吉田 稔 先生 (国立病院機構本部)

栄養療法を突破口にして、いかに離脱に導くか、最新エビデンスをもとに解説してくれます。

そんなことができるのか!
ウィーニング困難例に対する呼吸筋トレーニング

Rik Gosselink 先生 (ベルギー)

ウィーニング困難例の原因を挿管や気管切開中の患者さんに対して、一体どうトレーニングを行うのか、呼吸筋の視点から深掘りして解説します。

世界に届け! 地球規模のワンチームで実現する早期離床
最先端のInnovative Approachをこの瞬間に学ぶ

●SL 特別講演 ●SP シンポジウム ●AS離床セッション ●WP トピックス講演 ●KL 教育講演 ●GS 学術セッション ●HS ハンズオンセッション

メイン
カンファレンス
6/1(日)

	大ホール	小ホール	リハーサル室	ハンズオン
	現地+ZOOM生ライブ中継	英語(同時通訳・通訳の中継もあり)	現地+オンデマンド 日本語 (ライブ中継はありません)	現地限定 日本語
10:10~10:30	●SL ・最新エビデンスに基づく ICU・急性期の離床・リハ			
10:30~11:10	●SP-1 離床を進め筋萎縮を ゼロにするためのエコーを用いた筋評価 ～どんな患者に、いつ、どの部位で 測定するのがベストなのか?～	●SL ・今、考えるべき重症患者の長期予後 ～回復の鍵となる具体的な戦略とは?～	●KL-1 実学脳画像～"読める"に コミットしたパターン別読影術～	●HS-1 離床を成功に 導くひとワザ! 弾性包帯・ パンテージの実践法 予約制
11:10~11:30	Q&A・Break			
11:30~12:30	●AS-1 最新エビデンスから導く 離床の最適な Doseとは? ～頻度・強度・時間・タイミング～ ・人工呼吸器患者の離床 CapabilityとDoseから考える次のステップ ・心不全患者のバイオマーカーから 導く最適な Mobilization ・脳卒中患者に最適な 離床アプローチを行う具体策	●AS-2 重症患者に対する至適な呼吸管理 ～Weaningに必須の最新 Pieces～ ・PEEP・駆動圧・経肺圧を考慮したARDS 患者の最適な人工呼吸器設定 ・世界中が驚いた!人工呼吸器からの早期 離脱と早期離床を実現するゼロ鎮静戦略 ・離床だけじゃダメ! 長期人工呼吸患者に対する 離脱に向けた最善の栄養投与	●KL-2 世界レベルの離床専門家が語る 検査データ ～血液データ・胸部X-P・ フィジカル所見 私はここを診ている～ ●KL-3 ・嚥下と栄養のハイブリッドケア ・チーム連携と離床フロントライン ・長期離床を実現する臨床ツール	●HS-2 パターン別に 実践する最適な 嚥下姿勢選択と ポジショニング法 予約制
12:30~13:50	Lunch Break and Poster Viewing			
13:50~14:10	●SP-2 PICS対策最前線 ・急性期の筋萎縮を予防せよ! 離床と栄養療法的重要性 ・隠れたせん妄・うつ・PTSDを見逃 すな!～認知・精神面をフォロー する秘策～ ・見落としやすいPICS-F対策 ～患家族に及ぶ障害を 予防するため具体策～ ほか	●SP-3 病棟の寝たきり文化をみんなで変える! 離床の効果を最大限に あげるためのチーム連携 ・多職種を巻き込む鍵とは何か? 実際の臨床現場で起きた成功例から 学ぶアクティヴヒント ・“Humanizing Care” 患者を中心に 考えた離床・チームのあり方 ほか	●KL-4 急性期患者に投与される薬剤が 離床に与える影響 ～疾患別に見るPitfall～ ●GS-1 実際にベテランが落ちたピットフォール ～離床して悪化につながった出来事～ ●GS-2 新書籍出版記念講演本当にここだけ の話よ～百戦錬磨のベテランが若い頃 ダメ出しをくらった瞬間～整形外科編	●HS-3 膝の痛みを 徒手療法で撃退! ベテラン直伝 徒手アプローチ ●HS-4 聴診/打診を極める ～組み合わせの 聴打診でわかる 胸腹部の異常～ 予約制
14:10~14:30				
14:30~14:50				
14:50~15:20	Q&A・Break			
15:20~15:40	●WP-1 世界最先端の離床・リハ① ・ついにここまで来た! 夜間に行うリハビリの具体策 ・急性期から在宅までのフォロー アップを実現する Tele Rehabilitationの行い方 ・重症患者に対するEMS ～ベルト式電気刺激を用いた筋萎縮予防の実際～	●WP-2 世界最先端の離床・リハ② ・THA術翌日に退院する超急性期 外来・在宅リハビリテーションの行い方 ・呼吸筋力低下を予防するための革新的アプローチ ・血液データと横隔膜エコーを用いた 効果判定も含めて ・吊り上げ式リフトを用いた早期離床の未来 ～ECMO中でも行う離床の実際～	●GS-3 「循環の安定」とは～幾多の危機 をくぐり抜けてきたプロフェッ ショナルの視点を極める～ ●GS-4 味が良くて栄養も抜群患者さんのタイプ 別にみた美味しい食事・献立の作り方 ●GS-5 呼吸状態悪化の枢勢をどう読むか ～肺炎・間質性肺炎・気胸・肺水腫～	●HS-5 あえて抱える 介助法!? 新しい移乗動作 スキル 予約制
15:40~16:00				
16:00~16:20				
16:20~16:40	閉会式・Award 表彰			

▶ = 見逃し配信あり

※プログラムに変更が生じる場合もございます。

安心の日本語講演

●GS-1 ▶ ●GS-5

本当にここだけの話よ
百戦錬磨のベテランが若い頃
ダメ出しをくらった瞬間 整形外科編

龍田 勇二 先生 (白金整形外科病院)

整形外科領域で経験豊富な専門家が、若手時代に受けたダメ出しの瞬間を振り返り、臨床で役立つ学びや成長のヒントをユーモアを交えて伝えます。

味が良くて栄養も抜群!
患者さんのタイプ別にみた
美味しい食事・献立の作り方

大沢 優也 先生 (済生会横浜市東部病院)

「美味しい」と「栄養バランス」を両立する食事の秘訣とは? さまざまな疾患や病態、それぞれのタイプに合わせた献立の工夫や栄養療法のポイントを専門家が伝授。

実際にベテランが落ちた
心電図のピットフォール
離床して悪化につながった出来事

原田 真二 先生 (大和成和病院)

離床後に悪化を招いた実例をもとに、注意すべき波形や臨床判断のポイントを徹底解説。現場で活かせる実践的な心電図の読み方を学びます。

呼吸状態悪化の枢勢をどう読むか
肺炎・間質性肺炎・気胸・肺水腫それぞれの評価ポイント

河内 章 先生 (飯塚病院)

呼吸状態悪化のサインを見逃さないために、画像・血液データ・フィジカル所見から病勢を読み解く技を徹底解説。トレンドを逃さず、最適な離床につなげるコツを習得します。

トコトン深める教育講演

●KL-1 ▶ ●KL-4

実学脳画像
"読める"にコミットしたパターン別読影術

山田 航平先生 (成田赤十字病院)

脳画像を“読める”ようになるための実践的アプローチを徹底解説!臨床で即活用できる実学的な脳画像の読み方を学びます。

世界レベルの離床専門家が語る検査データ
血液データ・胸部X-P・フィジカル所見
私はここを診ている (日本語翻訳テキスト付)

Jinyoung Park 先生 (韓国)

海外の離床のプロは検査データのどこを見ているのか、一挙公開!離床可否の判断やリスク管理のポイントを語りつくします。

急性期患者に投与される薬剤が離床に与える影響
疾患別に見るPitfall (日本語翻訳テキスト付)

Cerso Noel Bate 先生 (フィリピン)

鎮静薬・循環作動薬・筋弛緩薬など、よく使用される薬剤の注意すべきポイントや離床時の落とし穴を教えてください。

シンポジウム

●SP-1 ▶ ●SP-3

筋萎縮やPICSの対策について、各施設が直面する課題と最先端の対策を徹底討論!

現場で実践される最新のアプローチやチーム医療の成功例を共有し、より効果的な介入を探ります。臨床に直結する知見を深める絶好の機会をお見逃しなく!

離床を進め筋萎縮をゼロにする
ためのエコーを用いた筋評価
どの部位で測定するのがベスト?

PICS対策最前線
ICUにおける筋萎縮を予防せよ!
離床と栄養療法的重要性

病棟の寝たきり文化を
みんなで変える!
離床の効果を最大限に
あげるためのチーム連携

ハンズオンセミナー

現地対面
限定36名

第一線で活躍する専門家から、明日から使える知識と技術を直接学ぶチャンス!

要予約

実践的な指導でスキルを磨き、明日から即戦力となるワザを習得します。少人数だからこそ得られる濃密な学びを、是非、体感ください!

・弾性包帯・パンテージの実践法
・嚥下姿勢選択とポジショニング法
・膝関節に対する徒手療法
・聴診/打診を極める
・新しい移乗動作動作介助

The 9th Asia Pacific conference on Weaning and Early Mobilization for Critically ill patients in Tokyo 2025

Premium
Lecture
May 31 (Sat)

The Premium Lecture agenda

14:00-オープニング	第1会場	第2会場
14:10-14:30	今、なぜ重症患者の離床が重要なのか ～エビデンスから学ぶ早期介入の必要性～ Dale Needham 先生 アメリカ	
14:30-14:50	最新データから厳選！エキスパートが推奨 Physical Activityの評価法と採点時のコツ 中西 信人 先生 神戸大学	14:00～15:20 要予約 今すぐ使える！離床ワークショップ 1 この方法があったか！ 世界オモシロ排痰法あれこれ Balachandran 先生 シンガポール
14:50-15:10	離床を円滑に進めるために必要な病棟設定 ～離床基準・鎮静・Automatic Order System～ Chi Ryang Chung 先生 韓国	
15:10-15:30	隠れた障害を見逃すな！ 重症患者の認知・精神機能障害とアプローチの実際 ～長期予後を見据えたPICS予防の具体策～ 河合 佑亮先生 藤田医科大学病院	
15:30-16:00	質疑応答・Break	
16:00-16:20	病棟に浸透しやすい離床プロトコルの立て方 ～多職種が“連動”するゴール設定の極意～ Thomas Rollinson 先生 オーストラリア	
16:20-16:40	この介助世界基準 離床を安全に進めるためのSafety Handling Balachandran 先生 シンガポール	Break
16:40-17:00	ICUにおけるOTの創意工夫 認知面だけでなくADLも改善させる至極のワザ 安岡 万里 先生 作業療法部会	
17:00-17:20	Break	16:30～18:00 要予約 今すぐ使える！離床ワークショップ 2 Peter Nydahl先生が教える 気管吸引のコツ Peter Nydahl 先生 ドイツ
17:20-17:40	抜管後の嚥下障害をどう防ぐ？ 誤嚥する前に行うべきアプローチと将来像 Martin Brodsky 先生 アメリカ	
17:40-18:00	離床を看護ケアに加えて効果倍増！ エビデンスからひも解く Nurse Driven Mobilizationの実際 Kate Tantam 先生 イギリス	
18:00-18:20	EMS/床上エルゴ／振動刺激 最も効果的なのはどれ？ 離床時に用いる機器をエビデンスで斬る！ Kim Leong 先生 マレーシア	Break
18:20-19:00	Break	18:20～19:00 要予約 今すぐ使える！離床ワークショップ 3 バーチャル感覚を使った転倒予防 ～世界最先端機器StA²BLEを用いた長期離床の未来～ 島 圭介 先生 横浜国立大学
19:00-19:40	ライブ離床カンファレンス 世界的エキスパートの臨床眼を知る	